



〔発行所〕 一般社団法人応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室  
TEL : 03-5216-8401 FAX : 03-5216-8520 E-mail : [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) HP: <https://www.ecesj.com/>

〔発行者〕 一般社団法人応用生態工学会 (編集責任者: 専務理事 天野邦彦 事務局長 西牧均)

1	はじめに	1
2	総会・理事会報告	1
3	第1期第2回臨時総会のご案内	3
4	第27回さいたま大会2024開催案内	3
5	廣瀬賞等の受賞者決定について	8
6	事務局より	9

## 1 はじめに

### 一般社団法人応用生態工学会が設立されました。

一般社団法人応用生態工学会が7月1日に設立され、任意団体であった応用生態工学会を承継しました。このことにより、業務の受委託を法人として実施することができるようになりました。また、寄付を受けやすくなる、学会が行う事業等の社会的信頼が得られるといったことが期待されます。

今号では、一般社団法人応用生態工学会設立時の学会の動きをお伝えします。また第27回全国大会(さいたま大会)、全国大会時に開催される第1期第2回総会の案内などをお伝えします。

## 2 総会・理事会報告

一般社団法人を設立する際には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の第10条により、「その社員になろうとする者(以下「設立時社員」という。)が、共同して定款を作成し、その全員がこれに署名し、又は記名押印しなければならない。」と規定されています。

このため、旧応用生態工学会の会長、副会長、幹事長の5名を設立時社員および設立時理事として、一般社団法人応用生態工学会を設立し、設立後速やかに第1期第1回通常理事会および第1期第1回臨時総会を開催し、会員規程の制定を行うことで、旧応用生態工学会から一般社団法人応用生態工学会へ会員の移行を行いました。また、旧応用生態工学会の理事も法人の理事として移行し選任しました。旧応用生態工学会については、現在清算中です。

設立時理事による設立時理事会(第1期第1回通常理事会)、設立時社員による設立時総会(第1期第1回臨時総会)およびその後開催された理事会における決議事項、報告事項等について、下記の通り報告します。

### ・第1期第1回通常理事会

開催日時: 令和6年7月5日(金) 午前9時30分~午前9時45分

出席者: 設立時理事4名(総数5名中)、設立時監事1名(総数2名中)

開催場所: 公益財団法人 河川財団 大会議室

決議事項：第1期第1回総会の招集決定の件

副会長3名選定の件

専務理事選定の件

事務局長選任承認の件

・第1期第1回臨時総会

開催日時：令和6年7月5日（金）午前9時50分～午前10時5分

出席者：設立時社員5名（総数5名中）、設立時監事1名（総数2名中）

開催場所：公益財団法人河川財団 大会議室

決議事項：理事15名選任の件、会員規程制定の件

・第1期第2回通常理事会(web会議)

開催日時：令和6年7月23日（火）午前10時～午後0時10分

出席者：会長・副会長を含む理事13名（総数20名中）、監事1名（総数2名中）

審議事項：廣瀬賞等受賞者決定の件

無償譲渡契約の件

予算における事業名決定の件

諸規程策定の件

インターネットによる総会案内の件

一般社団法人における新入会員及び会員証の取り扱いの件、

報告事項：設立時理事会及び総会について

登記完了について

会員管理システムについて

その他事項：地区会について

委員会の再構成について

・第1期第3回通常理事会

開催日時：令和6年年8月20日（火）午前10時～正午

出席者：会長・副会長を含む理事17名（総数20名中）、監事2名（総数2名中）

開催場所：公益財団法人 河川財団 大会議室

決議事項：第1期第2回総会の招集決定の件

理事会運営規程策定の件

総会運営規程策定の件

地区会規程策定の件

役員候補者選考委員会規程策定の件

謝金に関する規程、廣瀬賞細則、ワークショップ助成細則改正の件

新規入会希望者承認の件

報告事項：将来構想委員会報告

雇用契約書（案）について

個人情報利用目的等通知書（案）について

その他事項：地区会について  
委員会の再構成について

### 3 第 1 期第 2 回臨時総会のご案内

日時：令和 6 年 9 月 20 日（金）午前 10 時～11 時  
場所：埼玉会館 小ホール（さいたま市浦和区高砂 3-1-4）

目的事項

決議事項

第 1 号議案 総会運営規程の件

報告事項

令和 6 年度予算案

令和 6 年度事業計画案

会員状況報告

総会・理事会・委員会の開催状況報告

会誌「応用生態工学」編集状況報告

令和 5 年度事業報告

諸規程の策定状況報告

2025 年全国大会（検討状況）

総会のご案内正会員の皆様にはすでに差し上げておりますが、ご出席よろしくお願ひいたします。また、会場へのご出席ができない方におかれましては、委任状または議決権行使書の提出をお願ひいたします。

総会の参加または委任状、議決権行使書は、下記の web 回答フォームにより送付できますのでご協力をお願いします。

<https://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=soukai>

また、総会資料につきましても、学会ホームページに掲載しておりますので、適宜ご参照ください。

### 4 第 27 回さいたま大会 2024 開催案内

応用生態工学会第 27 回さいたま大会 2024 は、下記に示すとおり開催されます。現在 300 名以上の方の参加申込をいただいております。引き続き参加を受け付けておりますので、奮ってお申し込みください。

なお、当日は、世代を問わない闊達な意見交換の場とするため、ぜひ軽装でお越しください。

#### 【概要】

##### ■大会実行委員長

埼玉大学理工学研究科（環境科学・社会基盤部門） 田中 規夫 教授

##### ■日程

第 1 日目 9 月 18 日（水）：研究発表（ポスター発表）、自由集会

第2日目 9月19日(木)：研究発表(口頭発表)、自由集会、懇親会

第3日目 9月20日(金)：総会、発表賞表彰、廣瀬賞発表・記念講演会、公開シンポジウム

第4日目 9月21日(土)：エクスカージョン

■会場

埼玉会館(所在地：〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4)

最寄り駅：JR浦和駅

アクセス：<https://www.saf.or.jp/saitama/access/>



■大会ウェブサイト

<https://pub.confite.atlas.jp/ja/event/eces2024>

【研究発表、自由集会】(対面形式で実施)

■第1日目(9月18日(水))

研究発表の第1日目はポスター発表(92件)、自由集会(8件)、企業展示が実施されます。詳細なプログラム、要旨は下記ページをご覧ください。

[https://pub-files.atlas.jp/fs/public/eces2024/ver\\_27/program/ja/eces2024\\_program\\_20240918.pdf](https://pub-files.atlas.jp/fs/public/eces2024/ver_27/program/ja/eces2024_program_20240918.pdf)

8件の自由集会のタイトルは以下のとおりです。興味深いテーマが目白押しです。

[FB1] 流域治水によって変わる国づくり

[FB2] いい川づくりのあり方を考える

[FB3] 河川の自然再生事業は、ネイチャーポジティブに寄与できたのか～九州における幾つかの事例～

[FB4] 河川・ダムに関するデータベースについての意見交換会

[FC1] 自然とデジタルツイン：3次元が生み出す環境分野の革新とは？

[FC2] 気候変動への適応と緩和そして生物多様性保全に貢献するNbS：印旛沼流域での研究と実践

[FC3] 田んぼのいきものをどうやって守っていくか？—水田水域における多様な生物の保全と再生—その⑧～応用生態工学テキスト：水田環境の保全と再生～

[FD1] ダム湖における外来魚対策の現状と今後の展望—積極的駆除から低密度管理に向けて—

## ■第2日目 (9月19日 (木))

研究発表の第2日目は口頭発表 (46件)、自由集会 (2件)、企業展示が実施されます。詳細なプログラム、要旨は下記ページをご覧ください。また、研究発表終了後の19時から埼玉会館内で懇親会が実施されます。昨年に続き全国の地域研究会が特産品を持参くださる予定です。どうかご賞味ください。

[https://pub-files.atlas.jp/fs/public/eces2024/ver\\_27/program/ja/eces2024\\_program\\_20240919.pdf](https://pub-files.atlas.jp/fs/public/eces2024/ver_27/program/ja/eces2024_program_20240919.pdf)  
2件の自由集会のタイトルは以下のとおりです。

[FA1] 川の定量的環境目標の設定に向けて

[FB5] 航空レーザ測深データの河川管理への積極的な活用を考える

## 【企業展示】

さいたま大会 2024 で出展いただく企業は以下の7社です。パネル等を使って各社のいちおし技術などが紹介される予定です。ぜひご覧ください。なお、初日は会議室で、2日目以降は小ホールのロビーで行われる予定です。

- ・株式会社生物技研 (賛助会員)  
展示内容：自社サービス内容を記載したチラシの配布等
- ・株式会社建設環境研究所 (賛助会員)  
展示内容：ポスターやタペストリー等を使用した技術紹介
- ・株式会社田中三次郎商店  
展示内容：水中カメラ及び動画解析、ドローンラジオテレメトリーシステムの紹介
- ・いであ株式会社 (賛助会員)  
展示内容：技術紹介 (グリーンインフラ、ブルーインフラ等)
- ・応用地質株式会社 (賛助会員)  
展示内容：自社サービス内容を記載したチラシの配布等
- ・日本工営株式会社 (賛助会員)  
展示内容：BSC工法～土壌藻類を活用した自然にやさしい侵食防止/植生形成技術～
- ・株式会社バイオーム  
展示内容：サービス紹介 (市民科学による生物調査、生物相推定、緑地設計シナリオ分析、生息地連結性解析) および求人・共同研究の募集

## 【懇親会】

懇親会は、9月19日(木)18:00から埼玉会館で行います。毎回好評の「全国からのお土産 (お酒・おつまみ)」コーナーも予定しておりますので、会員同士の交流・情報交換の場として、ぜひご参加ください。

日時：9月19日(木) 18:00～20:00

場所：埼玉会館 2F レストラン宴会場・ラウンジ

参加料：会員 (正会員・賛助会員・名誉会員) ・非会員：7,000円 (予定)、学生 (学生会員・非会員)：3,000円 (予定)

申し込み方法：

下記ページよりお申し込みください。なお、大会参加申し込み後の追加申し込みも可能です。

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eces2024/content/konshinkai>

### 【総会】

応用生態工学会第1期第2回総会は、埼玉会館小ホールで9月20日（金）の10:00~11:00に実施予定です。総会資料など詳細については、本ニュースレターの総会のページを参照ください。

### 【第1回廣瀬賞発表、受賞講演会】

第1回の廣瀬賞の発表及び受賞者による記念講演会は、埼玉会館小ホールで9月20日（金）の13:00~14:30に実施予定です。

受賞者はp8にて報告しています。受賞講演会では、各受賞者の研究内容や活動内容などが紹介されます。貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

### 【公開シンポジウム】（会場とオンラインのハイブリッド開催）

今回の公開シンポジウムは「ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けた応用生態工学の役割」と題して、下記のとおり実施されます。オンラインでの配信も実施しますので、多数のご参加をお待ちしています。

#### ■企画のねらい

応用生態工学会は、生態学と土木工学が共同して、その境界領域において新たな理論・知識・技術体系を構築し、もって「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を達成することを共通の目標としています。7月には任意団体から一般社団法人となり、新たなスタートを切ることが予定されています。

このような中、学会の目標である「生物多様性の保全」に関しては、新たな世界目標である昆明・モントリオール生物多様性枠組の採択（2022年）を受け、2023年3月に「生物多様性国家戦略2023-2030」が策定されたほか、2024年3月には「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」が4省庁名で出され、さらに2024年4月にはネイチャーポジティブ法とも言える「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」が成立しました。今後環境省、農水省、国交省の3省が法に基づいて基本方針を策定することになります。「人と生物の共存」については、生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方が検討されており、2024年3月には検討会から提言案が提示され、6月頃には水管理・国土保全局長から各地方整備局長等への通知が予定されています。

一方、さいたま大会の開催地である埼玉県は、「埼玉県生物多様性保全戦略（2024（令和6）～2031（令和13）年度）」を策定し、目指す将来像として「ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現」を掲げ、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーも加えた3つの課題の同時解決について言及しています。

そこで本公開シンポジウムでは、これらの国内の大きな動きを踏まえて、最新の情報を共有するとともに、今後応用生態工学が取り組むべきこと、特に現場でネイチャーポジティブを支える技術体系などについて改めて議論し、提案を行うことを目的として開催します。

#### ■日時

2024年9月20日（金）15:00~17:30

■会場

埼玉会館 小ホール及び zoom ウェビナー

(埼玉会館へのアクセス : <https://www.saf.or.jp/saitama/access/> )

■プログラムと話題提供者

<第1部 話題提供>

笹渕 紘平 氏 (環境省自然環境局自然環境計画課保全再生調整官)

『ネイチャーポジティブの実現に向けた国の取り組み』

新屋 孝文 氏 (国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川環境調整官)

『生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方』

荒井 理恵 氏 (埼玉県環境部みどり自然課野生生物担当主幹)

『埼玉県とネイチャーポジティブ～埼玉県生物多様性保全戦略を中心に～』

森 照貴 氏 (国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センター長)

『河川におけるネイチャーポジティブの実現に必要なデータとモデリング』

幸福 智 氏 (いであ株式会社国土環境研究所地域共創推進部上席研究員)

『ネイチャーポジティブの評価と促進に関する技術』

<第2部 パネルディスカッション>

テーマ：ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けた応用生態工学の役割

コーディネーター：田中 規夫 氏 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

■参加費

無料 (どなたでもご参加いただけます。)

■参加申込み

会場参加とオンライン参加 (Zoom ウェビナー) のいずれかについて、下記 URL よりお申し込みください。なお、いずれも先着 500 名で締め切ります。

1)会場 (埼玉会館小ホール) : <https://forms.office.com/r/v0VTBG1yVp>

2)Zoom ウェビナー : [https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_GLFazS9ITVii8uLIGlkrFA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_GLFazS9ITVii8uLIGlkrFA)

■CPD申込み

建設コンサルタンツ協会 (JCCA) の CPD 登録証を発行します。会場参加の方は当日配布します。Zoom ウェビナー参加の方には後日視聴時間を確認の上送付します。ご希望の方は上記のサイトで参加申込の際にチェックをお願いします。

【エクスカージョン】

大会最終日の 9 月 21 日(土)には、エクスカージョンを行います。周辺の魅力的な場所を訪問します。まだ残席がございます。皆様のご参加をお待ちしております。

■開催趣旨

大会開催地のさいたま市は、荒川の中流部に位置します。荒川はその名前のおり荒ぶる川と言われ、洪水による氾濫が繰り返されてきました。その氾濫から首都圏を守るため、さまざまな治水事業が進められてきました。今年は荒川上流の改修、荒川放水路通水から 100 年となります。これまで、さまざまな治水事業が進められてきたにもかかわらず、令和元年の東日本台風(台風 19 号)のような大規模な水害

をもたらしました。荒川流域では「荒川水系流域治水プロジェクト 2.0」が策定され、様々な取り組みが進められています。

一方で埼玉県では「埼玉県生物多様性保全戦略(2024(令和6)年度～2031(令和13)年度)」が策定され、災害や気候変動等の様々な変化に対してもレジリエントである(柔軟で回復力のある)健全な生態系を確保することで、「ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現」を目指すことが示されています。

今回のエクスカージョンでは、荒川流域および羽生市「宝蔵寺沼ムジナモ自生地(国指定天然記念物)」において「ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現」に関連する取り組みに関わり、第一線でご活躍されている方を講師にお招きし、エクスカージョン参加者の皆様と意見を交わしながら現場をまわり、ネイチャーポジティブの意義を感じてもらえるきっかけとなることを願い開催するものです。宝蔵寺沼のムジナモは埼玉県の絶滅種リストから野生復帰が検討され、今回間近に観ることができます。

#### ■開催概要

開催日：9月21日(土) 8:30 集合～16:00 解散

(なお、道路事情等により解散が遅れる場合があります。)

視察場所：①首都高見沼ビオトープ、②芝川第一調節池、③宝蔵寺沼ムジナモ自生地、④荒川太郎右衛門自然再生地

集合場所：JRさいたま新都心駅東口バスターミナル

解散場所：JR大宮駅前西口シーノビル前

昼食場所：首都圏中央連絡自動車道(圏央道) 菖蒲PA(各自ご用意ください。PAでも食事可能です)

定員：35名 ※申込み先着順

#### ■解説者(予定)

金子 康子 埼玉大学教育学部シニアプロフェッサー

堂本 泰章 埼玉県生態系保護協会

中野 浩平 埼玉県生態系保護協会

藤野 毅 埼玉大学大学院理工学研究科

三上 忠仁 埼玉県立自然の博物館

#### ■参加費(予定)

一般：4,000円、学生(会員・非会員)：2,000円

#### ■詳細

下記URLより資料をご覧ください。

[https://pub-files.atlas.jp/cer-r/eces2024/pdf/eces24\\_excursion\\_240816\\_ja\\_20240816175313843.pdf](https://pub-files.atlas.jp/cer-r/eces2024/pdf/eces24_excursion_240816_ja_20240816175313843.pdf)

#### ■申込み方法

大会参加申込みフォームからお申し込みください。大会参加申込み後の追加購入も可能です。

[https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eces2024/content/field\\_excursion\\_saitama](https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eces2024/content/field_excursion_saitama)

## 5 廣瀬賞等受賞者決定

7月23日に開催された理事会において、応用生態工学会廣瀬賞、研究奨励賞および応用生態工学社会実践賞の受賞者が決定しましたので、お知らせします。なお、応用生態工学会廣瀬ワークショップ助成については、応募者がなく今回の助成対象はありません。



受賞者の皆様おめでとうございます。なお、授賞式は、さいたま大会 2024 において、9月20日(金) 13:00~14:30 に、埼玉会館小ホールで実施予定です。授賞式では、受賞者からのご講演をお願いしています。また、受賞理由についてもご報告する予定です。

(第1回廣瀬賞受賞者)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授 源 利文氏

(第1回研究奨励賞受賞者)

九州大学大学院農学研究院 助教 小山 彰彦氏

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 係長 中島 颯大氏

北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 三浦 一輝氏

(第1回社会実践賞受賞者)

国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター

九州大学 流域システム工学研究室

応用地質株式会社・一般財団法人水源地環境センター

## 6 事務局より

### 住所等の連絡先変更は「会員登録情報変更フォーム」にてお願いします

1. 会員情報の変更登録は、学会ホームページトップ画面右上の「入退会・登録変更・購読」バナーから入り、「会員登録情報変更フォーム」に入力し送信してください。
2. 下記 URL で「会員登録情報変更フォーム」へ直接接続することもできます。

<https://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=change>

3. 会員情報変更のご連絡は、学会事務局 [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) にメールをいただくことも可能です。

会誌(希望者のみ)のお届け、ニュースレター、その他の連絡では、かなりの「不達が発生」しています。

連絡先等の変更連絡をよろしくお願いいたします。

### 退会の申し出は「退会フォーム」にてお願いします

退会の申し出については、事務局の見落とし等をさけるため、①「学会ホームページ退会フォーム」または ②「事務局あてに退会の連絡メール」により連絡をお願いいたします。

## 会員数の比較

令和6年8月20日現在の会員数と前年との比較

	R6年8月20日	R5年6月30日	増減
正会員	841	863	-22
学生会員	141	114	27
賛助会員	45	47	-2